

～歯を救う最後の切り札～

歯周外科治療を知りたい！



ジワジワと進行し、自覚症状が出にくい歯周病。
治療が必要だと気付いたときにはすでに重症…というケースがあとを絶ちません。
しっかりと治して歯を残すには手術が必要になることもしばしばですが、近年は、
再生療法などの目覚ましい進歩によって救うことのできる歯が増えてきています。

歯周外科治療って？

歯周病がそれほど進行していなければ、歯石除去などで骨の喪失を止めることができます。しかし、進行した歯周病ともなると、プラークにまみれた歯石が歯周ポケットの奥深くまで入り込み、除去したくても器具が届かないところまで入ります。そこで必要となるのが歯周外科治療です。歯ぐきを開いてプラークや歯石を確実に取り除き、深い歯周ポケットを浅くして再発しにくくします。

歯周病の治療とは？

歯周病は、お口のなかにいる歯周病菌が炎症を引き起こす病気です。歯周病菌は歯にベタベタと付くプラークに棲んでいて、軽石のようにゴツゴツした歯石のなかに潜り込んでしつこく悪さをします。歯周病の治療でもっとも重要なのは、炎症の原因である歯周病菌をしっかりと取り除くこと。そうすれば歯ぐきの腫れも、骨の喪失も停止させることができます。



歯石とプラーク



歯ぐきに炎症が
起きている

歯を支える骨（歯槽骨）
が減っている

早期に治療するほど有利です！

歯周病は、自覚症状が少ないため、重症になってはじめて治療が必要だと気付くかたがほとんどです。
近年では歯周病の治療は目覚ましい進歩をとげ、骨の喪失を止めたくて、失った骨を再生させることもできるようになってきました。
しかしそれでも、完全に元通りにすることはほぼ不可能です。重症になる前に早期に発見、早期に治療を心掛けましょう！